

呉心臓センター ニュース

2012年
6月号

National Hospital Organization Kure Medical Center Kure HEART Center

大動脈瘤について ご存知ですか？

大動脈瘤(だいどうみゃくりゅう)は、心臓から出て体の中心部を走る太い血管がこぶ状にふくらむ疾患です。「動脈硬化」や「高血圧」などが原因で起こる病気で、60~80歳代の人に多くみられます。大動脈の直径はおよそ2センチ程度ですが、**5センチ以上にふくらむと破裂する危険が高まります。**破裂すると大出血をおこすため、50%以上の人亡くなるたいへん怖い病気です。大動脈瘤が大きくなっても、自覚症状はほとんどありません。そのため健康診断などで偶然発見されることが多い疾患です。病気が見つかる前に突然死を起こすことがあるため、「サイレントキラー」とも呼ばれています。大動脈瘤がある一定以上大きくなると、破裂を予防するための手術がすすめられます。

一般的な大動脈瘤の手術では通常胸や腹を大きく切開する方法が行われます。ただしこの方法では体への負担が大きく、高齢者や持病のある方では手術ができない場合があります。現在は「**ステントグラフト内挿術**」がより負担の

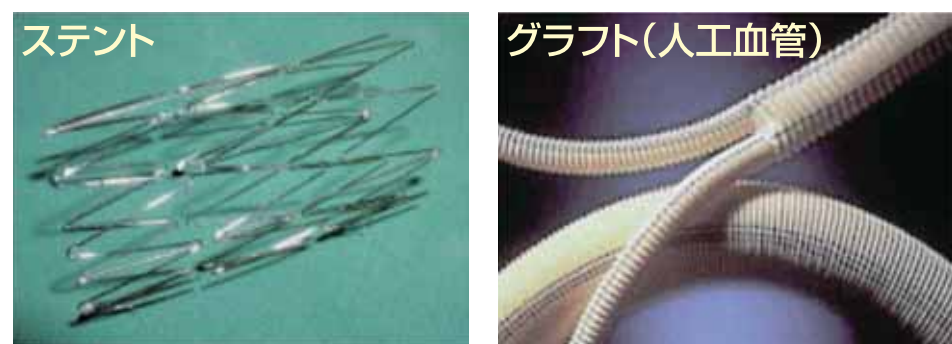
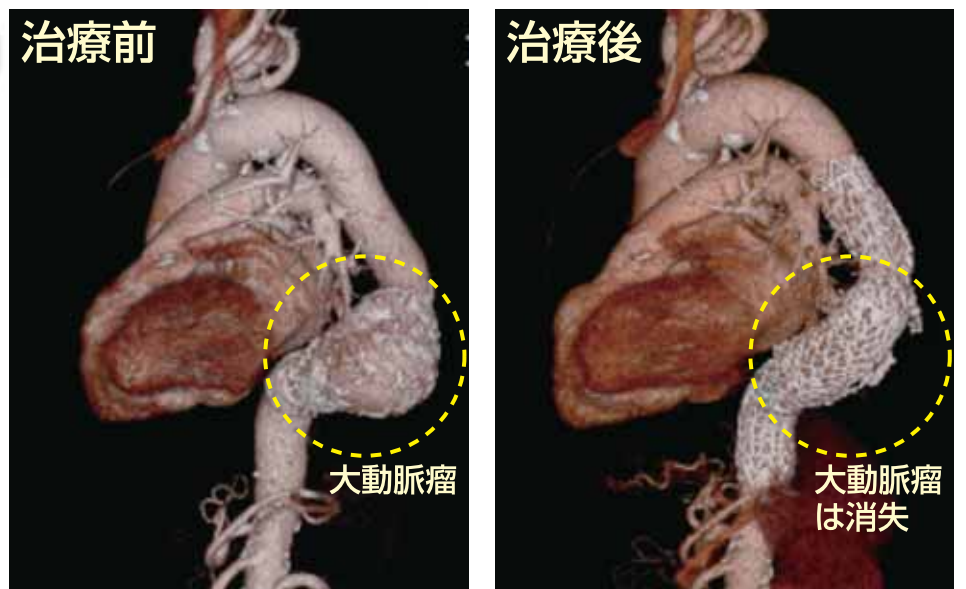


図2 ステントグラフトとは、ステント(金属バネ状の構造物)にグラフト(人工血管)を組み合わせた新しい医療材料である。



少ない手術として普及しています。(図1)この手術では両脚の付け根を小さく切開し、血管内に金属製のバネ(ステント)が付いた人工血管(グラフト)を挿入する手技です。(図2、3)手術時間は約2時間です。通常1週間で退院可能で、痛みもほとんどないため早めの就労、社会復帰が可能です。この治療法は従来の方法に比べて高齢者や持病を有する患者様にも



図3 ステントグラフトを足の付け根の小さな切開から大動脈瘤内に挿入する

安全に施行できるため、これまで手術をためらっていたり、経過観察されていた患者様にはとても希望の持てる治療法と考えます。

「大動脈瘤」と診断されたらすぐに循環器専門医へ相談してください。

「大動脈瘤」と診断されたらすぐに循環器専門医へ相談してください。

腹部の触診、腹部CT、腹部超音波(エコー)で見つかります。動脈硬化が心配な方、特に65歳以上の方は、年一回、検査を受けるようにしましょう。

- ◆『呉心臓センター』は、循環器科、心臓血管外科、救命救急部、手術部、地域医療連携室などの協力で、地域で唯一、心臓当直医師による24時間診療体制を行っています。
- ◆『呉心臓センター』は休日、夜間の診療体制に特に力をいれていますが、日常診療でも循環器科、心臓血管外科は、芸南地域で最大数の心臓カテーテル治療、心臓大血管手術を提供しています。

心臓疾患の緊急時は「呉心臓センター」へ

時間内(平日8時30分~17時15分)

・救急外来受付…(0823)22-3111 内線3000番

時間外、夜間休日(上記以外の時間帯)

・救急外来受付…(0823)23-1020

問い合わせ先

〒737-0023 広島県呉市青山町3番1号

独立行政法人国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター 地域医療連携室

TEL (0823)22-3111 ホームページ <http://www.kure-nh.go.jp/>



当院のロゴマークは「なだらかな海」と「爽やかな風」の自然な調和を表現しております。

